

## 天を恨まず

教育相談専門員 沼波かおり

2011年3月22日、桐原裕太君は、卒業生代表として答辞を読んだ。厳寒の気仙沼市立階上（はしかみ）中学校体育館。あの「東日本大震災」のわずか十日後のことである。

彼は答辞の中で「自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません」と涙をこらえながら、一言一言吐き出すように語る。当時ニュースで全国放送されたので覚えている人もいるかもしれない。「がんばれ、しっかり最後まで読んで」と思わずテレビに向かって声をかけたくなるような映像だった。その後彼はこう続ける「でも時は確実に流れていきます。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、たくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です」と。

さらに後輩には「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、「いとおしんで過ぎて。」というメッセージを贈っている。ありえない地獄を味わった者にしか言えない、つらいけれど確かに心に届く言葉がここにある。人は自分の限界を超えた試練に出会うと、誰か（何か）を恨まずにはいられない。何で自分だけが、何でこんなひどい目に、何で……。桐原君のように「天を恨まず」という心境はなかなかないものだ。でも「恨み」からは何も始まらないことも確かだ。

そしてまた、九州でも厳しい春が始まった……。

この春、皆さんはどんなスタートをきりましたか？

華陽フロンティアから始まった「あたりまえ」の日々や友達を大切に、どうか、あなたらしく、強く、たくましく生きていってください。

\*

\*

\*



昨年から定時制、通信制のスクールカウンセラーとして、日・火・木の午後、教育相談室で勤務しています。沼波（ぬなみ）と申します。悩んだり困ったりしたら、ご遠慮なく相談室へどうぞ。一年間よろしくお願ひいたします。

### ☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が毎月来校されます。「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と5月の相談日》

● 沼波 かおり先生（本校教育相談専門員）

毎週火曜日、木曜日 午後1時～6時40分

● 堀 智哉先生（各務原病院 臨床心理士）

毎週月曜日、金曜日 午後7時～9時（※5月13日（金）は除く）

● 鷲見 栄子先生（社会福祉士）5月6日（金）20日（金）27日（金）午後2時～4時

☆ 生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係（教育相談室：本館3階）、養護教諭（保健室：本館1階）の先生方のいずれかに申し込んでください。

★ 保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。

お申し込みは、定時制教育相談係（長瀬・岩佐・服部）までお願いします。

電話番号は（058）275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。